

第1回
紀の川市ワークショップ(3/12開催) 実施報告書

平成29年4月

目次

1.実施概要	2
<hr/>	
2.各ラウンドの進め方	4
<hr/>	
3.各ラウンドの結果	6
<hr/>	
3-1.第1ラウンドの結果	7
<hr/>	
3-2.第2ラウンドの結果	8
<hr/>	
3-3.第3ラウンド・第4ラウンドの結果	9
<hr/>	
4.まちの将来像(案)	11
<hr/>	
5.市民ワークショップ後のアンケート結果	13
<hr/>	

1.実施概要

市民ワークショップの実施概要

第1回紀の川市ワークショップの実施概要(実施日時、実施場所、対象者、参加者数、実施内容)は以下のとおりです。

実施日時	平成29年3月12日(日)14:00~16:30
実施場所	紀の川市役所本庁舎7階ラウンジ
対象者	公募
参加者数	62名 (内訳:高校生16名、市民46名)
実施内容	<ul style="list-style-type: none">• 紀の川市が未来に向けて取組むべきことを検討(第1ラウンド)• 紀の川市の強み分析(第2ラウンド)• 未来のまちの姿のアイデア出し(第3ラウンド)• アイデアを比較検討しながら整理(第4ラウンド)• 話し合った内容を文章化

2.各ラウンドの進め方

各ラウンドの進め方

今回の市民ワークショップの各ラウンドの「テーマ」「手法」「時間」「実施手順」は以下のとおりです。

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	将来像(案)
テーマ	紀の川市が未来に向けて取り組むべきこと	紀の川市の強み	未来のまちの姿	未来のまちの姿	まちの将来像(フレーズ)
手法	グループワーク	グループワーク	個人ワーク	グループワーク	グループワーク
時間	15分	15分	15分	25分	25分
実施手順	<ul style="list-style-type: none"> ① 紀の川市が未来に向けて取り組むべきことを付箋に書き出す ② ①で出した意見のうち同じような意見を集めてグルーピングする ③ グルーピングした意見の中から優先順位が高い意見ベスト5を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 紀の川市の強みを付箋に書き出す ② ①で出した意見のうち同じような意見を集めてグルーピングする ③ グルーピングした意見の中から優先順位が高い意見ベスト5を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第1ラウンドと第2ラウンドで出した意見を踏まえて、紀の川市の未来の姿(紀の川市が目指す姿)を付箋に書き出す(記載例: ○○なまち) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第3ラウンドで出した意見を「未来に向けて重要かどうか」と「紀の川市の強みを活かせるかどうか」の2軸で分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4ラウンドの分析結果を踏まえて、紀の川市の未来に向けて重要で、かつ紀の川市の強みを活かせる領域の意見を中心にしてまちの将来像(案)を作成(文章化)する ② まちの将来像(案)に込めた思い(意図や意味)を整理する

3.各ラウンドの結果

第1ラウンド(紀の川市が未来に向けて取り組むべきことの分析)の結果

第1ラウンドのテーマである紀の川市が未来に向けて取り組むべきことの分析の結果、農業の充実、商業施設の充実などの「農業・産業振興」や交通機関の充実などの「都市基盤」に関する意見が多くありました。

政策目標	件数	割合	
農業・産業振興	33	35.9%	
都市基盤	27	29.3%	
協働・市民交流	9	9.8%	
医療・保健・福祉	9	9.8%	
教育・文化	6	6.5%	
防災・防犯	3	3.3%	
自然環境	1	1.1%	
生活環境	0	0.0%	
行財政運営	0	0.0%	
市民サービス	0	0.0%	
その他	4	4.3%	
合計	92	100.0%	

「農業・産業振興」に関する主な意見

- 農業を充実させる
- 農業のイメージを変える
- 農業の担い手を増やす
- 動物園や水族館をつくる
- 商業施設(イオン等)をつくる

「都市基盤」に関する主な意見









- 交通機関を整備する
- 歩道を整備する
- 電車の本数を増やす
- コミュニティバスを充実させる
- 地下鉄を設置する
- 道路をきれいにする

「その他」の主な意見

- 人口を増加させる
- 住みたいと思えるまちづくり
- 住みやすいと思えるまちづくり
- 紀の川市のよさをPRする

第2ラウンド(紀の川市の強み分析)の結果

第2ラウンドのテーマである紀の川市の強み分析の結果、野菜や果物が豊富などの「農業・産業振興」や自然豊か、水がきれいなどの「自然環境」に関する意見が多くありました。

政策目標	件数	割合	
農業・産業振興	33	34.4%	
自然環境	20	20.8%	
協働・市民交流	10	10.4%	
教育・文化	7	7.3%	
防災・防犯	5	5.2%	
都市基盤	5	5.2%	
医療・保健・福祉	2	2.1%	
生活環境	0	0.0%	
行財政運営	0	0.0%	
市民サービス	0	0.0%	
その他	14	14.6%	
合計	96	100.0%	

「農業・産業振興」に関する主な意見

- 農業が盛ん
- フルーツが豊富
- いちご狩り
- めっけもん広場
- 野菜が豊富

「自然環境」に関する主な意見

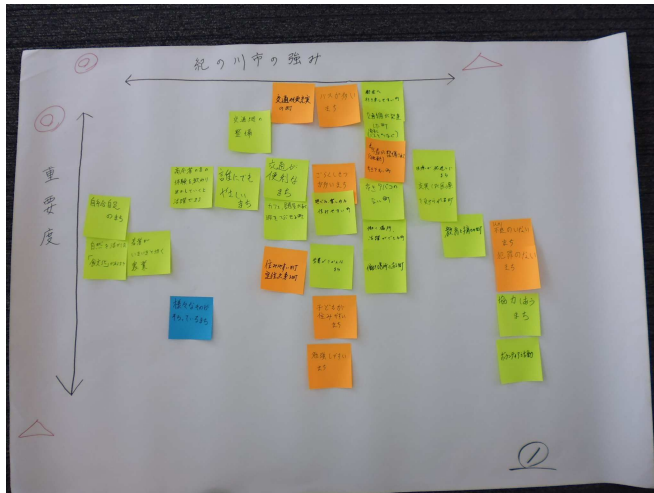
- 自然が豊か
- 緑が多い
- 水がきれい
- 星がきれい
- 春夏秋冬が美しい
- 夕日がきれい

「その他」の主な意見

- 人が明るい
- 人が優しい
- 人が温かい
- 何でもほどほどに存在する

第3ラウンド・第4ラウンド(未来のまちの姿)の結果(その1)

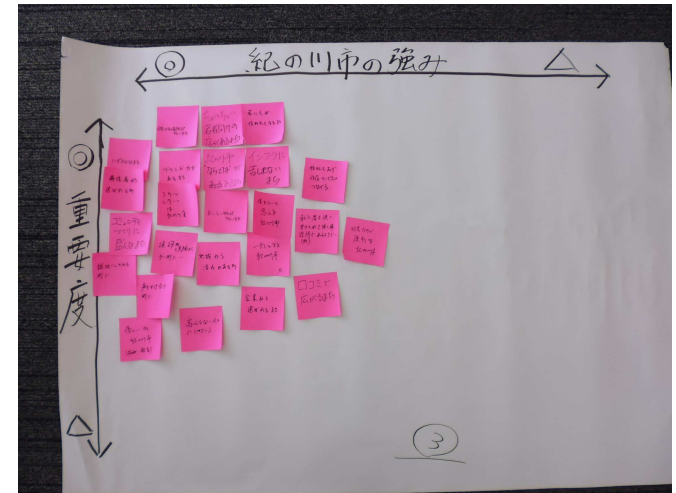
第3ラウンドでは、第1ラウンドと第2ラウンドで出た意見を踏まえて、紀の川市の未来の姿(紀の川市が目指す姿)を付箋に書き出し、第4ラウンドで「未来に向けて重要かどうか」と「紀の川市の強みを活かせるかどうか」の2軸で分析しました。(取りまとめた様子は以下の写真のとおりです。)



1班 パワフルーズ



2班 ぷるぷるファースト



3班 3HOPE



4班 チーム リナ



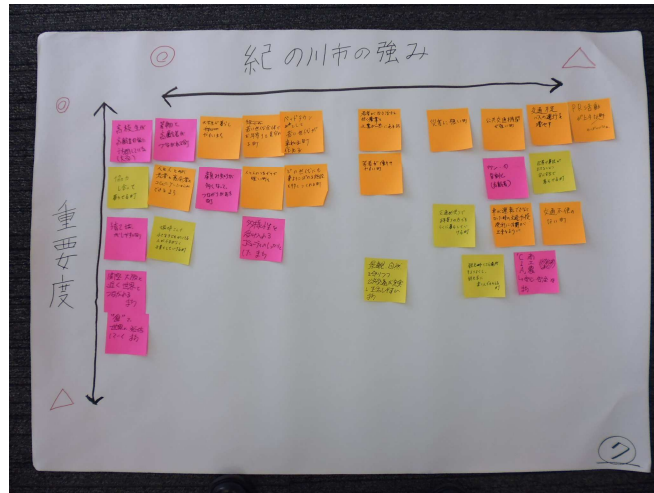
5班 チーム アオイ

第3ラウンド・第4ラウンド(未来のまちの姿)の結果(その2)

第3ラウンドでは、第1ラウンドと第2ラウンドで出た意見を踏まえて、紀の川市の未来の姿(紀の川市が目指す姿)を付箋に書き出し、第4ラウンドで「未来に向けて重要かどうか」と「紀の川市の強みを活かせるかどうか」の2軸で分析しました。(取りまとめた様子は以下の写真のとおりです。)



6班 ピチピチピーチ



7班 いくらでいい暮らし



8班 ももプルとゆかいな仲間達



9班 チーム フレンズ



10班 いちじくファイヤー

4.まちの将来像(案)

まちの将来像(案)

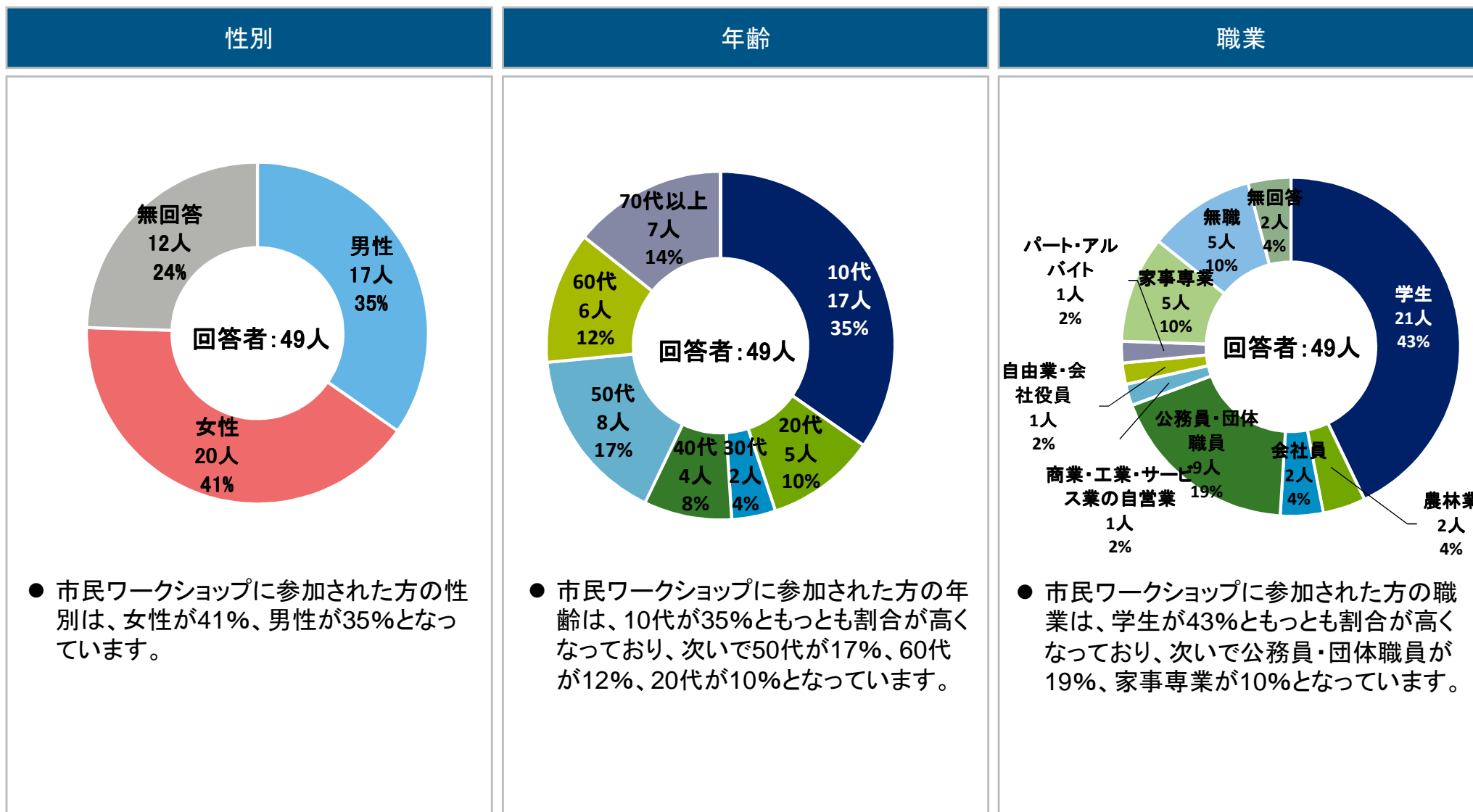
第1～第4ラウンドで整理した内容を踏まえて、紀の川市のまちの将来像(紀の川市が目指すまちの将来のイメージを文章で表現した結果)は以下のとおりです。

No	チーム名	まちの将来像(案)	フレーズに込めた想い
1	パワフルーズ	人が行き交い、緑が生きた地 皆が行きたいまち 紀の川	<ul style="list-style-type: none"> 交通が活かされている、環境豊かなまち 最も重要な取り組み＝道路、交通機関の整備 強み＝1自然、2農業、3観光
2	ぷるぷるファースト	市民が支えあい 笑顔で暮らせる住みよいまち ～チャレンジ 紀の川市～	<ul style="list-style-type: none"> 老若男女が関わりをもつ 学校や職場のある 新しいことにチャレンジする
3	3HOPE	プルプルにぎわい紀の川市 ～〇〇と自然とブランドがあふれる街～	<ul style="list-style-type: none"> フルーツと自然という強み いろんな意味でのにぎわい 人と人がつながる 〇〇には皆が想うそれぞれのキーワードを入れてほしい
4	チーム リナ	町を育てる職を増やして、親子で田舎に恋する街	—
5	チーム アオイ	人がつながり、人を育てるフルーティーな街	<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育 若い人を育てる町 自然との共存できる町 いつまでも環境に良いまち 農業経営についての教育(若い人を育てる) 地産池消ができるまち 地域の濃厚なコミュニティを形成した町
6	ピチピチピーチ	YFFT(ヤング・ファーマー・ファミリー・たくさん) なまち紀の川	<ul style="list-style-type: none"> 農業が盛んになるためには若者の力が必要 農家に嫁ぐお嫁さんがほしい 自然の中で子供が育つ
7	いくらでいい暮らし	たま駅長絶賛！！ みんなで作るフルーツポンチ、それは紀の川市！	<ul style="list-style-type: none"> みんな＝お年寄りから子どもまで フルーツポンチ＝もも、いちじく、みかん、いちご、かき、はっさく、キウイなど紀の川市を代表するフルーツのような色とりどりのまちづくり
8	ももプルとゆかいな仲間達	自然となかよ市・紀の川市 ～目指せ フルーツワールドカップ！～	<ul style="list-style-type: none"> フルーツワールドカップの開催メリット 雇用創出 宿泊施設の充実 紀の川市のフルーツを世界に発信 交通機関の充実
9	チーム フレンズ	自然と農業の魅力あふれる みんなが何度も来なくなるまち 紀の川市	<ul style="list-style-type: none"> 若者もお年寄りも安心して住める 自然と農業が強み 交通の便が良い
10	いちじくファイヤー	自然あふれ 安全で 愛ある 住みよい 紀の川市	<ul style="list-style-type: none"> 班に消防士さんが居たので紀の川市が安全な町であると新たな視点で見られた お姉さま達が多いシルバーチームだったので住環境に着目できた

5.市民ワークショップ後のアンケート結果

市民ワークショップ後のアンケート結果(参加者の属性)

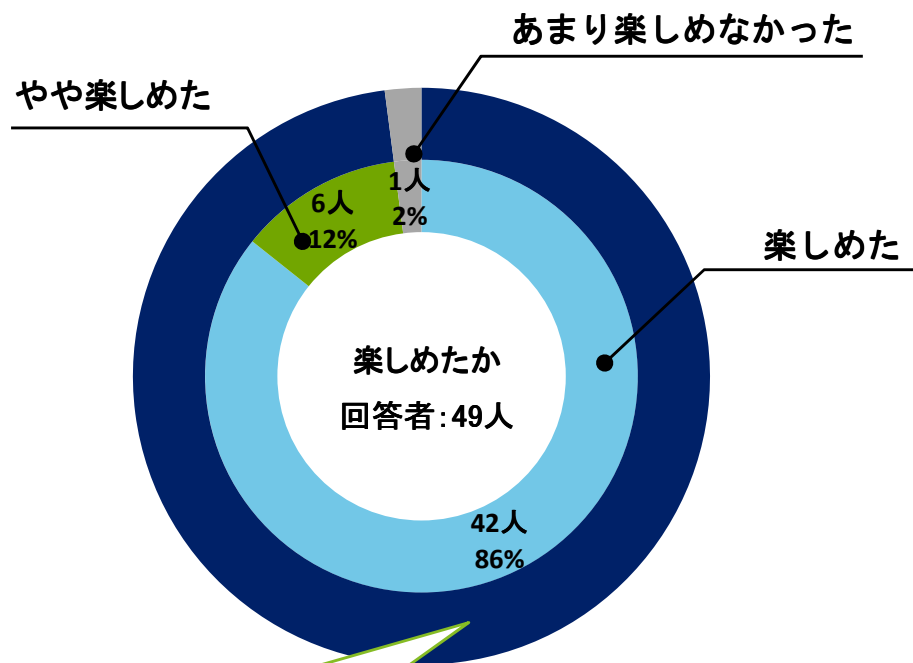
市民ワークショップ後に実施したアンケート結果から、市民ワークショップに参加された方の「性別」「年齢」「職業」は以下のとおりであり、性別は男女同程度であり、年齢は10代がもっとも多く、職業は学生がもっとも多くなっています。



市民ワークショップ後のアンケート結果(参加した感想)

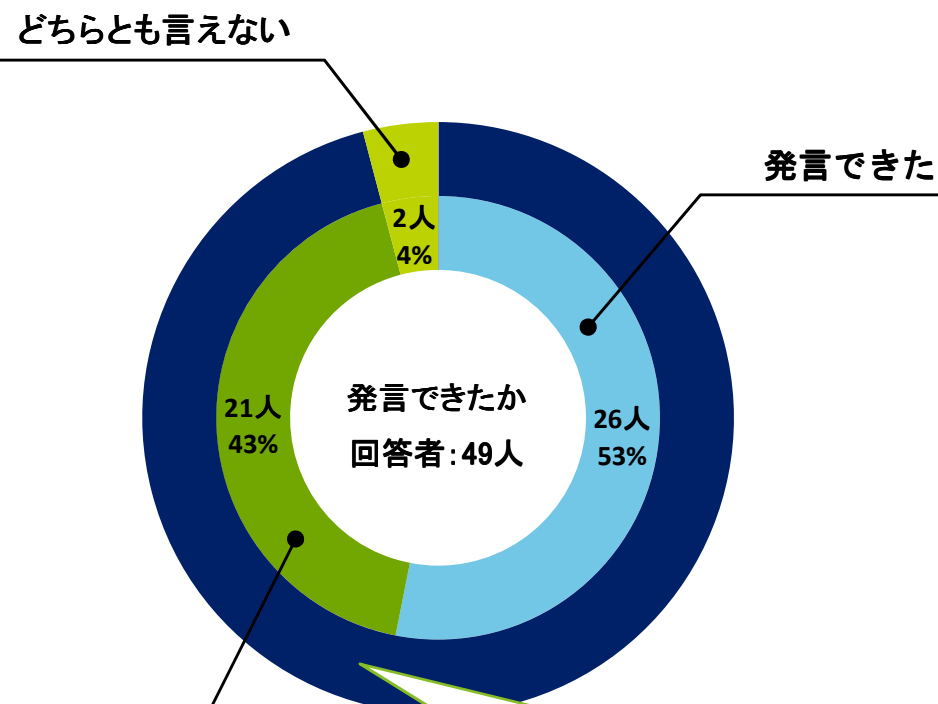
市民ワークショップ後に実施したアンケート結果から、9割以上の参加者がワークショップを楽しめたと回答しています。また、9割以上の参加者がワークショップでご自分の意見を発言できたと回答しています。

質問① 本日のワークショップはお楽しみいただけましたか？



「楽しめた」「やや楽しめた」と回答した方の割合は**98%**

質問② 本日のワークショップではご自分の意見を十分に発言できましたか？



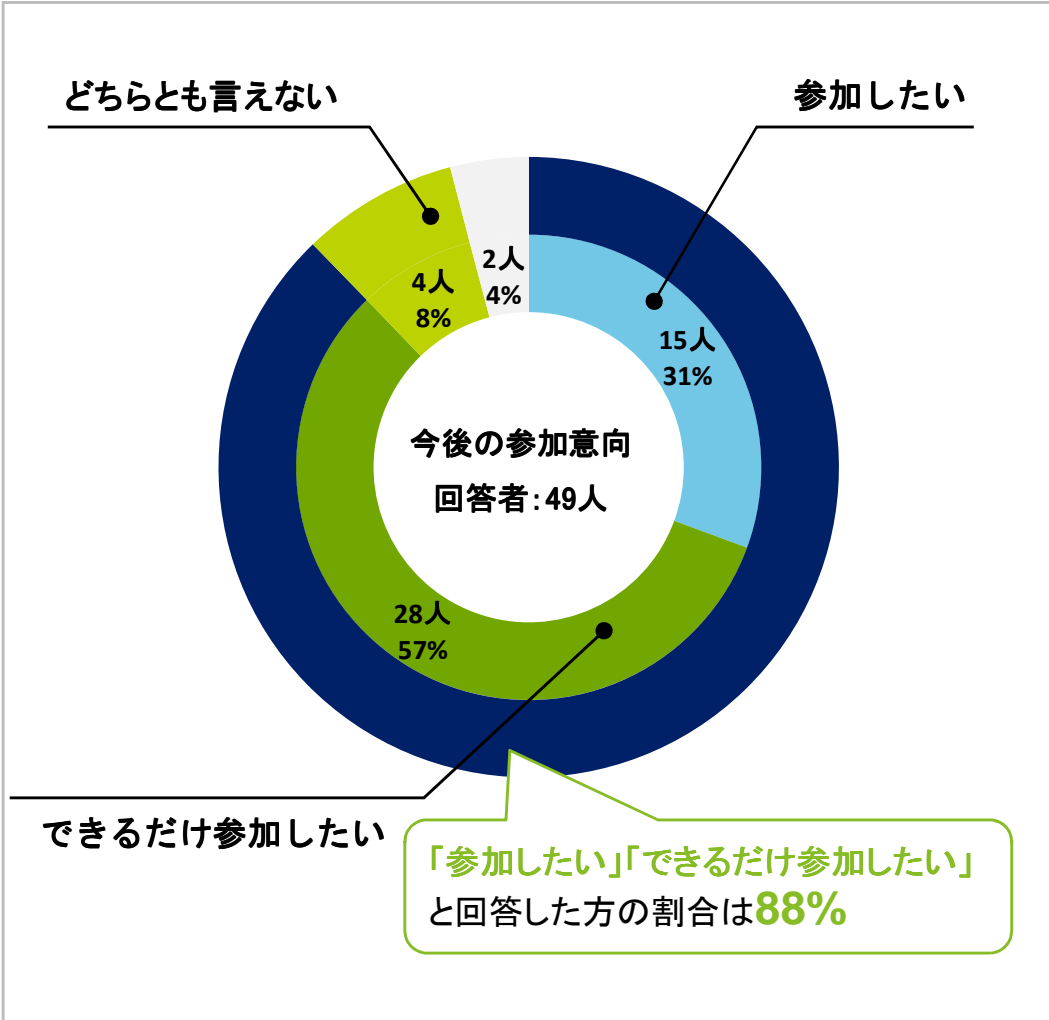
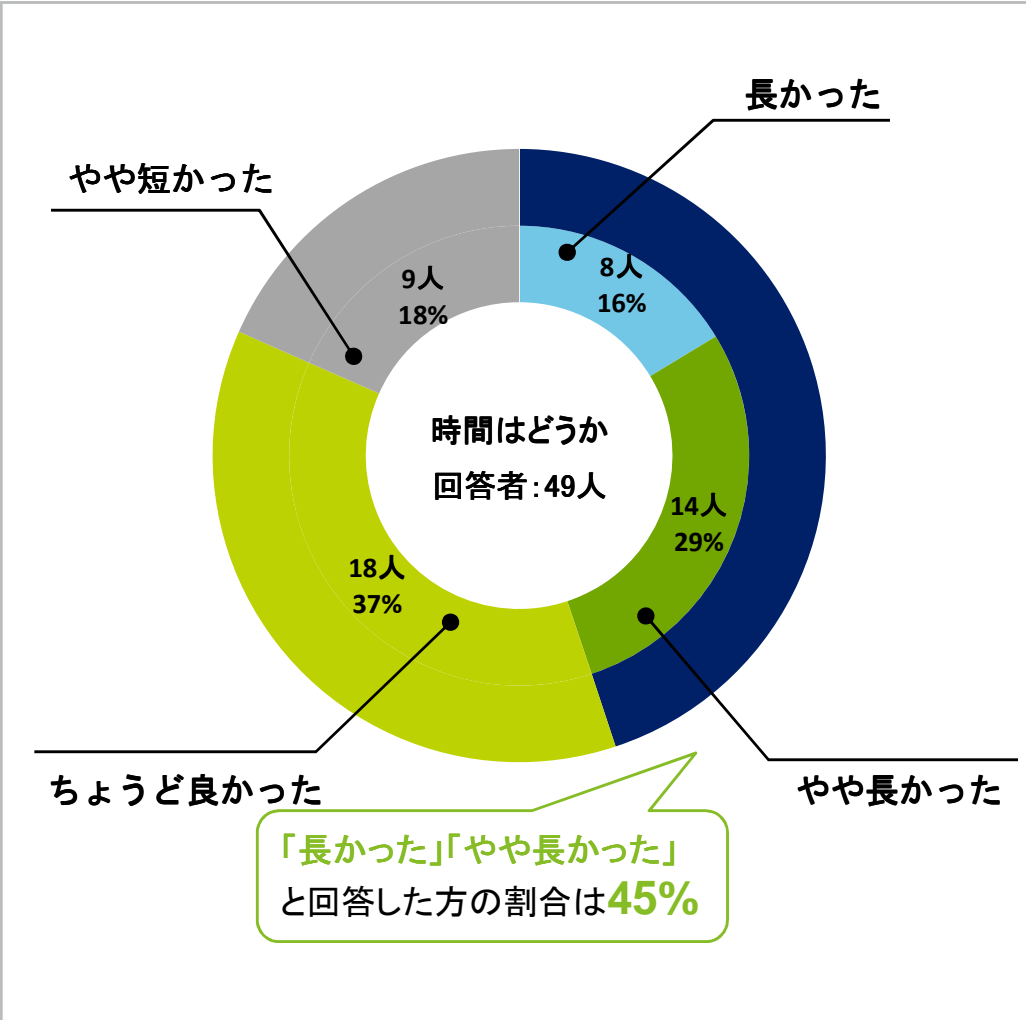
「発言できた」「おおむね発言できた」と回答した方の割合は**96%**

市民ワークショップ後のアンケート結果(参加した感想)

市民ワークショップ後に実施したアンケート結果から、約4割の参加者がワークショップの話し合いの時間が長かったと回答しています。また、約9割の参加者が今後も市民参画の機会があれば参加したいと回答しています。

質問③
本日のワークショップでの話し合いの時間(長さ)はいかがでしたか？

質問④
今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか？



市民ワークショップ後のアンケート結果(参加者からの気づき・感じたこと)

市民ワークショップ後に実施したアンケート結果から、ワークショップの中で、気づいたことや感じたことは以下のとおりであり、若い方との意見交換が有意義であった、楽しかったなどの意見がありました。

項目	主な感想
対話	<ul style="list-style-type: none">● 学生の方は意見をまとめるのが早い● 活発な意見が出て楽しく過ごせました
参加者	<ul style="list-style-type: none">● フルーツワールドカップが強烈すぎて記憶がありませんが、母の世代のお母様方と活発に意見交換でき、考えた事のない視点でとらえられ、とても楽しかったです● 若い人の意見が聞けて良かった● 高校生の参加が多く活気があった。学生は発言を嫌がる? ので、コーディネーター(進行役)が重要です
今後の進め方	<ul style="list-style-type: none">● 紀の川市の当初予算の説明をしてあげては。(どのようなことをしているのかよく問われました)
その他	<ul style="list-style-type: none">● 楽しかったです!!● 皆、意識が高かったです。● 皆様、紀の川市(郷土)を愛されている事を実感致しました● スタッフの皆様、設営お疲れ様でした